東濃西部少年センター　活動報告　　2025 年10月号

センター月だより

〒507-0034　多治見市豊岡町 1-55　ヤマカまなびパーク　4F　℡　23-3455　fax　26-8813

「帰りたい家庭」「通いたい学校」「住みたい地域」

先月５日、ヤマカまなびパーク5階会議室において、3市の地区長および副地区長が一堂に会し、指導部役員会を開催しました。

会議では、各地区における声かけ活動の実施状況について報告があり、地区ごとの取り組みや課題について情報を交流しました。また、学校に足が向きにくくなっている子どもへの声かけや関わり方について話題となり、子どもの心に寄り添った支援のあり方や家庭・学校・地域が連携して子どもたちを支えていく体制について、意見交換を行いました。

指導部役員会　　R7．９．５

◆指導日誌より

多治見地区

・コンビニや公園など子どもたちが集まりやすい場所を中心に見回りましたが、残念ながら子どもたちの姿は見かけませんでした。通学路で下校中の生徒たちに声をかけると、こちらのあいさつに対して、気持ちのよい笑顔であいさつを返してくれました。（9/1　笠原）

・児童センターでは、高校生たちと元気にあいさつを交わすことができました。お互いに笑顔で気持ちのよい交流となりました。（9/9　小泉）

瑞浪地区

・朝の暑さも少しずつ和らぎ、子どもたちの足取りも自然と軽くなってきました。「おはようございます!行ってきます!」と、元気いっぱいのあいさつを返してくれました。（9/17　陶）

・歩きスマホをしている高校生とすれ違う際、こちらが立ち止まったことで接触は避けられましたが、一歩間違えれば事故につながりかねない危険な状況でした。歩きスマホの危険性について、改めて注意喚起の必要性を感じました。子どもたちが安全に、そして他者を思いやりながら歩けるよう、声かけをしていきたいと思います。（9/4 瑞浪・土岐 B）

土岐地区

・午後7時を過ぎて到着する列車には、下校途中の地元の高校生たちが多く乗車しており、中には、こちらに対して丁寧にあいさつを交わしてくる生徒もいました。（9/3　泉西）

・駅前の階段付近では、夕暮れが近づくにつれて迎えを待つ高校生の姿が次第に増えてきました。私たちの前を通り過ぎる際に、しっかりとお辞儀をし、声に出して挨拶を返してくれる高校生もおり、その礼儀正しさと爽やかな態度に感心させられました。（9/9　泉）

◆9月の活動状況

	多治見	瑞浪	土岐
声かけ人数	455	192	650
指導員参加数	57	25	29